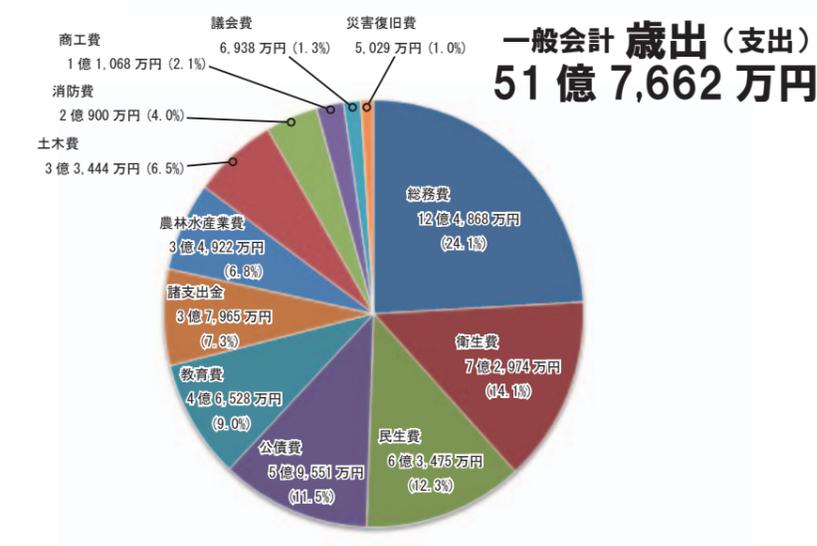
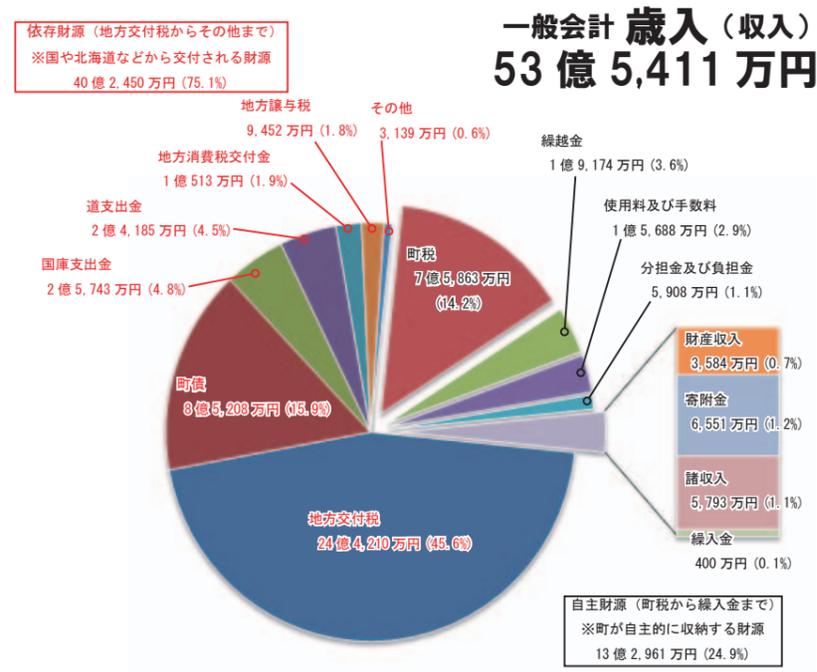


決算審査特別委員会を開催 9月12日13日

平成30年9月12日開催の第3回定例会において、平成29年度一般会計及び各特別会計の決算認定が提案され、議長及び議会選出の監査委員（高橋議員）を除く8名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託して審査することを決めました。

平成29年度 各会計歳入歳出決算を徹底審議！



平成29年度決算状況

Table with 5 columns: 区分 (Division), 最終予算額 (Final Budget), 歳入決算額 (Income Actual), 歳出決算額 (Expenditure Actual), 収支差引 (Surplus/Deficit). Rows include General Account, Waterworks, Health Insurance, Sewerage, Nursing Insurance, etc.

決算特別委員会質疑の中から

総務費

問（船木委員） 姉妹都市交流費は最近4万円が計上されているが、特別交流年ではないからか。

答（企画財政課長） アラスカのほうで開催されている日本語スピーチコンテストの佐呂間町長賞のトロフィー代などです。

民生費

問（佐藤委員） 町内でデイサービス事業をやっている施設は2カ所あるが、何人くらいの利用者がいるのか、また利用者の増減の傾向は。

答（保健福祉課主幹） 平成29年度の一か月平均利用者数が62名で、年間の延べ人数

衛生費

問（佐藤委員） 予防接種によって障がいが出た患者から、損害賠償の請求がされたと聞いているが、町は加入しているのか。

答（総務課長） 町が行う事業等によって、けがをされた方のために総合賠償責任保険というものに毎年、町民の数で加入しておりますので、そちらで対応できるかと思っております。

教育費

問（佐藤委員） マスコミ等で小学生のランドセルが重たいと取り上げられているが、町としての取り組みは。

答（教育長） 文部科学省の方でそういう実態に対する通知が近々出されるというような報道は承知しています。

歳入

問（小松委員） 町税、法人税、固定資産税などの徴収は今後

どうしていくのか。また滞納額は増えているが、どういう理由で滞納が残っていくのか調査しているか。

答（企画財政課長） 徴収の今現在の対策としては、現年度を優先的に徴収し、新たな滞納繰越額をつくらない方針のもとに取り組んでおり、現年度の収納率が高くなってきています。

滞納される理由としては生活困窮的なものが多いと判断していますが、中には生活の実態がルーズであることなどもあると思われる、預金や給与の差し押さえなど強制執行的なことも行いながら徴収に努めてまいります。

問（佐藤委員） ふるさと納税により町に入る町民税が軽減されることを心配する話が議会懇談会のなかであったが、平成29年度の町民税で軽減された件数、金額がどれくらいあったか把握しているか。

答（町長） 本町は地元で加工されたものを基本的に送ろうと進めています。寄附額が多い市町村では、この町の物を使ってもらうというスタイルが横行して、総務大臣はそこを整理しようとしています。

第3回定例会が9月12日から14日の間で開催され、議案7件、承認2件、同意1件、意見書1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

また、平成29年度各会計歳入歳出決算を認定したほか、平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率について報告を受けました。

第3回定例会

・審議した議案①

一般会計 補正予算

審議した議案	
予算	3761万円増
<p>■平成30年度一般会計補正予算(第5号)</p> <p>3761万円が追加され予算額が5億6331万円になりました。</p> <p>【主な歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時財政対策債 1463万円 ・クリニックさろま運営費負担金返還金 1311万円 ・畜産・酪農収益力強化整備等対策事業費補助金返還金 681万円 <p>【主な歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道維持補修業務委託料 235万円 ・重機等借上料(町道) 380万円 ・原材料等(町道) 16万円 ・河川維持補修委託料 39万円 ・重機等借上料(河川) 411万円 ・原材料等(河川) 82万円 	
<p>■平成30年度一般会計補正予算(第6号)</p> <p>441万円が追加され予算額が5億6772万円になりました。</p> <p>【主な歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通交付税 400万円 ・町税還付金 441万円 <p>【主な歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫負担金等返還金 1187万円 	
<p>■平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)</p> <p>153万円が追加され予算額が8億4652万円になりました。</p> <p>【主な歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養給付費等交付金繰越金 153万円 ・国庫負担金等返還金 153万円 <p>【主な歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム外壁改修事業費債 ▲2940万円 ・特別養護老人ホーム外壁改修工事 ▲2946万円 	
<p>■平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)</p> <p>1187万円が追加され予算額が5億4022万円になりました。</p> <p>【主な歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度繰越金 1176万円 ・【主な歳出】 ・国庫負担金等返還金 1187万円 <p>■平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)</p> <p>2849万円が減額され、予算の総額が2億2971万円になりました。</p> <p>【主な歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム外壁改修事業費債 ▲2940万円 ・特別養護老人ホーム外壁改修工事 ▲2946万円 	

7月・8月に発生した大雨による被害復旧のため
町道及び河川の維持補修経費 1163万円を補正

来年度に補助事業を活用して実施するため
特養愛の園の外壁改修工事 2946万円を減額補正

国民健康保険

問 (船木委員) 特定健診を受ける方が30%台でどんどん低くなっている。

答 (保健福祉課長) 平成29年度の受診率ですが、40歳から74歳で32・5%、平成28年度は33・2%と若干、減少傾向にあります。

問 (船木委員) 特定健診を受けようとする人が少ない。周知や意識を高めてもらう方法を何か考えているか。

答 (保健福祉課長) 平成29年度の受診率ですが、40歳から74歳で32・5%、平成28年度は33・2%と若干、減少傾向にあります。

問 (船木委員) 特定健診を受けようとする人が少ない。周知や意識を高めてもらう方法を何か考えているか。

答 (保健福祉課長) 平成29年度の受診率ですが、40歳から74歳で32・5%、平成28年度は33・2%と若干、減少傾向にあります。

公共下水道

問 (船木委員) 公共下水道で約80%、漁業集落排水も75%程度と普及率も高まってきているが、100%に近づけるため、今後どのように周知や意識を高めてもらう方法を何か考えているか。

答 (船木委員) 公共下水道で約80%、漁業集落排水も75%程度と普及率も高まってきているが、100%に近づけるため、今後どのように周知や意識を高めてもらう方法を何か考えているか。

知して加入してもらおうのか。それと料金の滞納について今後どのように対策していくのか。

答 (建設課主幹) 普及率につきましては、今後町の広報などで普及率を高めるような広報をしていきたいと思っております。

問 (建設課主幹) 普及率につきましては、今後町の広報などで普及率を高めるような広報をしていきたいと思っております。

問 (三田委員) ふれあいバスの運行状況について、10月1日から遠軽厚生病院で働いていた眼科の先生が遠軽町内で開業されるということ、新設された病院は遠軽線のルート上にあるが、そちらの利用者が多くなれば、路線を見直していくということも考えているのか。

答 (町民課長) 今の遠軽線のルート上にその病院があっても、地域交通会議にかけて民間バス会社や運輸局などの

運営状況

問 (三田委員) ふれあいバスの運行状況について、10月1日から遠軽厚生病院で働いていた眼科の先生が遠軽町内で開業されるということ、新設された病院は遠軽線のルート上にあるが、そちらの利用者が多くなれば、路線を見直していくということも考えているのか。

答 (町民課長) 今の遠軽線のルート上にその病院があっても、地域交通会議にかけて民間バス会社や運輸局などの

問 (佐藤委員) 今、市街地も農村部もカラスに大変苦慮しているが、何とか減らす対策をしてほしい。

答 (経済課主幹) 箱わなをかけた後、街中でなければ銃で撃つといった対応しかないのかなと思っております。

問 (町民課長) 町民課でも知来のごみ処理場に箱わなを設置していただき、昨年の駆除数が152羽でした。箱わなはその中でカラスを処分するので、街中のような人から見るところに設置することはないか。

答 (町民課長) 町民課でも知来のごみ処理場に箱わなを設置していただき、昨年の駆除数が152羽でした。箱わなはその中でカラスを処分するので、街中のような人から見るところに設置することはないか。



知来の一般廃棄物処理場に設置された箱わな

意見を聞かないと、通り道だからといって停車するわけにはいきません。

10月1日に間に合うか分かりませんが、書面協議を検討しております。新設された病院の前で乗降できる形にしたいと考えております。

問 (佐藤委員) 有害鳥獣駆除事業について、平成29年度の駆除頭数を教えてほしい。

答 (経済課主幹) ヒゲマ1頭、鹿154頭、キツネ41頭、カラス34羽、キジバト23羽となっております。

問 (佐藤委員) 今、市街地も農村部もカラスに大変苦慮しているが、何とか減らす対策をしてほしい。

答 (経済課主幹) 箱わなをかけた後、街中でなければ銃で撃つといった対応しかないのかなと思っております。

問 (町民課長) 町民課でも知来のごみ処理場に箱わなを設置していただき、昨年の駆除数が152羽でした。箱わなはその中でカラスを処分するので、街中のような人から見るところに設置することはないか。

答 (町民課長) 町民課でも知来のごみ処理場に箱わなを設置していただき、昨年の駆除数が152羽でした。箱わなはその中でカラスを処分するので、街中のような人から見るところに設置することはないか。

することはできない状況です。

答 (副町長) カラスは全国的な問題で、有効な対策が今のところ見いだせないところだと思っております。

ごみステーションに時間外にゴミを出したり、食べ物を道端に捨てるようなことをなくしていく限り、どうしようもならないのかなと思っております。

決算審査 特別委員会 委員長報告 (要旨)

平成29年度の財政状況等につきましては、継続してきた行財政改革の効果が発揮され、健全な状態となっております。

国は「一億総活躍社会」の実現に向け、まち・ひと・しごと創生を目指す一方、無駄を排除し予算の重点化を図る予算編成をしています。

この様な中、本町の自主的・主体的なまちづくりを展開していくため、健全な財政運営を進めるべく努めております。

地方自治体を取り巻く環境は、地域間格差が拡大し、依然として厳しい状況の中、今後の財政運営は、事務事業の費用対効果の検証・点検を行うとともに、国・道の助成制度の活用によるバランスを重視し、将来世代に過度の負担を残すことの無いように努めることを望むものであります。